



広報 しろね

特集 市の「下水道」事情



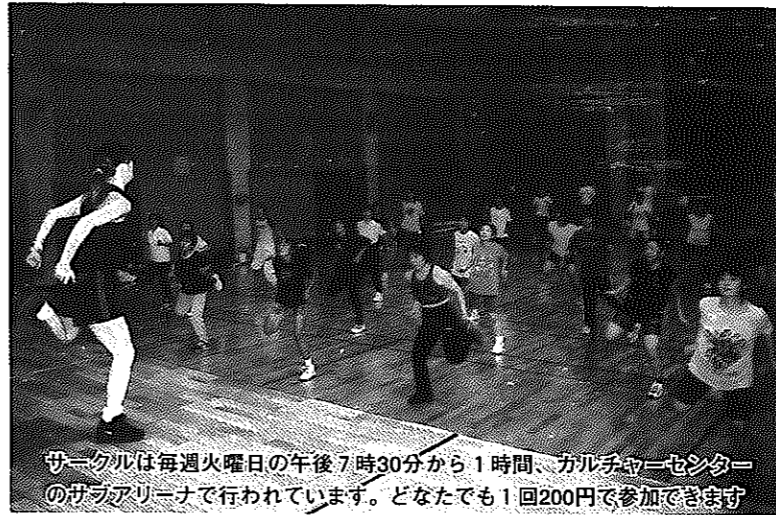
12.1
2000 No.582



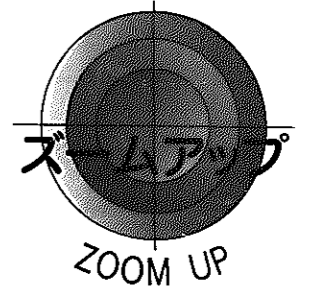
CONTENTS (もくじ)

- 市の「下水道」事情……………2、3
- 国民年金……………4、5
- お知らせ……………6～9
- みんなのページ……………10
- ズームアップ……………12

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。



サークルは毎週火曜日の午後7時30分から1時間、カルチャーセンターのサブアリーナで行われています。どなたでも1回200円で参加できます



体験会からサークルへ ～エアロビクス～



十月に誕生した、名前もメンバーの名簿もないエアロビクスサークル。これは、昨年と今年、スポーツ振興課が主催した「初心者エアロビクス体験会」に参加した皆さんがつくったものです。

「体験会終了後も「一回単位で参加」という形でエアロビクスを続けたいという人が、たくさんいたんです。それで、サークルをつくり、その日参加した全員で必要経費を負担することになりました。初心者でも楽しくストレス解消ができるので、週一回のサークルが楽しみです」と話す参加者の一人、小林清美さん(中央通)。サークルには常時約四十人が参加しているそうです。

広々とした空間で、大勢で行うエアロビクス。軽快なリズムに乗って、皆さんも体を動かしてみませんか。

▶数字で見る市勢 ※11月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,856人(+20人)
男	20,000人(+5人)
女	20,856人(+15人)
世帯	11,061戸(+27戸)
10月中の出生	19人 死亡 28人
転入	92人 転出 62人

編集ルーム

◎各地区で開催された市政懇談会が終了しました。多くの意見や要望などが出たなかで、本市の少子化について気になり、本市の出生数を調べてみました。◎昨年1年間の出生数は381人、10年前の平成1年は428人、20年前の昭和54年は477人、人口が増えているにもかかわらず、10年間で約50人ずつ減少しています。◎子どもは国の宝です。もっと白根の宝を増やしましょう。(ま)

因幡いか (鳥取県)

今でこそ、全国のほとんどの地域で、たこ、タコ、風と呼んでいます。昭和初期の新潟県の資料によれば、盃いか、心棒いか、ももいかのように「いか」でした。白根も大いか、巻いかでした。私も「いか、揚げっろう」などと、つい言ってしまいます。子どもは「いかって何だ?」と、いぶかしくります。因幡いかは、縦、横の竹骨が一本ずつ、シンプルな骨組みの、何の変哲もない風です。この種の風は、世界中に広く分布しています。インドには古くから、インディアンファイターという同型の風がありました。これがルーッとと思われまます。

あなたも風博士

文・田村和雄 (しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)



十六世紀、長崎に上陸したハタが、各地に広まりました。因幡いかもその一つです。九州、四国などに多く見られ、東北地方まで北上しました。江戸時代になって、風遊びが流行します。江戸の人たちが、いかをたこと呼ぶようになってから、「風」と一般に呼ぶようになりまました。「いか」という言葉も残りましたが…。